

# みやけの風

## 第 247 号

平成17年(2005年)11月5日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

いよいよ11月に入り、秋が深まってきました。冬も、もうすぐそこ。芸術の秋にふさわしく、来週は第20回三宅島合同音楽会が開かれます。大人も子どももお年よりもみんな楽しんでるように、みやけじま<風の家>でも練習に余念がありません。

### みんなの声

#### 帰島後初めての音楽会

来週の土曜日、小中高合同音楽祭を開催することになりました。今回は、学校再開後の初めての音楽会となります。

避難解除で一緒に島に帰ってきた人たちの中には、ボランティアの人たちもいました。避難中、秋川学校で練習を続けていた子どもたちもいました。そして、ふれあい集会のたびに楽しませてくれた「三宅島民合唱団 アカコッコ」の方たちもいました。

小学校、中学校、高校、保育園と「アカコッコ合唱団」、「三宅島<風の家>」と、みんなで村の音楽会を成功させたいと考えております。皆さまお誘い合わせの上、精一杯の演奏や合唱をお聴きいただき、励ましのお言葉などかけていただければ幸いです。

(三宅村立小学校 宮島)

#### 歌えることに感謝

朝晩めっきり涼しさを増し、いよいよ「島名物」の西風が吹く季節となりました。

全島帰島が始まって8ヶ月、三宅島民合唱団『アカコッコ』は、帰島後の再出発を9月16日に開始いたしました。

11月12日は、小・中・高校生を中心とする三宅島音楽会が三宅中学校で開催され、底に参加させていただくことになり、今、猛練習に励んでおります。少なかった男性メンバーも増え、ボリュームある練習でボリュームあるコーラスをお届けしたいと皆張り切っております。

演目は、エーデルワイス(英語・日本語) 里の秋(コーラス部員で作詞しました、三宅島バージョン) ふるさとの3曲です。ふるさとは3部合唱で歌いますので、ぜひ皆さまにお聞かせしたい曲目です。

三宅島民合唱団『アカコッコ』として、再び歌うことが出来るだろうか?と、不安を抱え帰島しましたが、幸い、三宅高校の校長先生を始め先生方のご尽力をいただいて、コーラス指導とピアノ演奏の二人の先生に恵まれました。また、練習会場も三宅高校を提供していただき、現在は歌えることを喜びと感謝の思いで練習をしております。

皆さまの暖かなご好意の下で育まれたコーラスを末永く継続できますよう、心から願い努力してまいります。(阿古 北川 多恵子)

## 第20回 三宅島合同音楽祭のご案内

日時：2005年11月12日(土) 9:00~12:00

会場：三宅村立中学校 体育館

曲目：「ドレミの歌」「もみじ」「おむすびころりん」「世界がひとつになるまで」/ 村立小学校、「サンボ」「パンダ・うさぎ・コアラ」/ 村立保育園、「里の秋(三宅島バージョン)」「ふるさと」/ 三宅島民合唱団『アカコッコ』、「われは海の子」「故郷の空」「赤とんぼ」「島節」/ みやけじま<風の家>、「ONE」「闘牛士の歌(カルメンより)」「LOVE LOVE LOVE」/ 三宅高校音楽選択生、「うたえバンバン」「この道」/ 音楽科教員、「島人ぬ宝」/ 教職員、「Believe」「旅立ちの時~Asian Dream Song~」「少年時代」/ 三宅村立中学校、「小さな世界」「世界に一つだけの歌」/ 全員合唱 ほか

「みやけの風」へのご意見・ご要望を、三宅島支援東京センターまでお聞かせください。

## 三宅島でエコツアーを！

アカコッコ館は、三宅島に「エコツアー」を定着させることを目標に活動を行っています。ただ、エコツアーという言葉、まだまだ聞きなれない方がほとんどだと思います。このコーナーではこれからエコツアーにスポットを当てて皆さんに紹介をしていきます。

### <エコツアーとは？>

エコツアーについて一般的にきっちりと決まった定義はありません。環境省のホームページでは「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全

に責任を持つ観光のあり方です。」となっています。

ただ単に多くのお客さんを迎えるための観光ではなく、エコツアーを行っている地域はポリシーを持って、地域の自然や文化を枯渇せずに上手に見せていくという観光の方法なのです。来訪者に地域をじっくりと知ってもらい、楽しんでもらうためのツアーです。少人数のお客さんにしっかりとサービスを提供して、三宅島のリピーターになってもらうことが目標だと思います。「エコツアー」はこれからの三宅島にはぴったりの観光のスタイルではないでしょうか？

(三宅島自然ふれあいセンター通信誌 アカコッコ 11月号より)

【三宅島自然ふれあいセンター アカコッコ館 11月のイベント情報】

### 大路池バードウォッチング

オシドリやオオバン、ノスリ、アオジなど三宅島に渡ってきたばかりの冬鳥を中心に観察します。

日時：11月6日(日) 9:30~11:30 集合場所：アカコッコ館

講師：海野義明(アカコッコ館副館長)

お申し込み：アカコッコ館 TEL: 04994-6-0410

## ～みやけじま「風の家」より～

11月を迎えて、「風の家」では12日に行われる「三宅島合同音楽会」に向けての練習を始めました。4日午後1時30分から始まった練習会には、たくさんの方々が来てくれてみんなで元気良く歌の練習をしました。練習をしていくうちにみんなの声も大きくなり、笑顔一杯で練習が進みました。そして、その流れから島節の練習？がはじまり、元気のいい手拍子や囃子とともに楽しい時間を過ごしました。この練習会は、残すところ後2回(8日と11日)ですが、次回も楽しい練習会になると思います。



今日は風も無く、とてもあたたかな陽気の中、<風の家>に来られた皆さんと一緒に「大路池」まで出掛けてきました。<風の家>にあたらしく来られた方も加わり、穏やかなお天気の中阿古から坪田までのちょっとしたお散歩遠足です。

ご一緒した方の中には、帰島して以来島内を見て回るのが初めてという方も居られて、「ずいぶん変わってしまったねえ～」と景色を見ながら話されていました。大路池の入口から中へ入ると「迷子椎(まいごじい)は、まだあるかなあ？」と話題が上がりました。ワクワクしながら進むと、立派な椎の木が立っていました。「迷子椎」です。しっかりと根を張り枝葉を伸ばしたその姿を観て「ああ、生きてるよ!」「残っていてくれたんだ!」とみんなで喜びました。そうして「大路池」の奥の棧橋まで車を進め、池を眺めたり草木を観たりして過ごしました。そこで、おやつをとりながらみんなそれぞれが持つ「大路池」での思い出を話したり、昔の島のことを思い出しては楽しい昔話に花が咲きました。

今、<風の家>では特別なプログラムを設けずに、日ごとにお出でになる方々と、その日の過ごし方を考えて進めています。今日のように良いお天気の時には、みんなで出掛けることも行っています。このようなやさしい時間を、ご高齢の方々だけではなく、たくさんの島の方々のご一緒できればと考えています。

11月4日